教育のぼりべつ

令和３年
12月1日
No.32

発行：登別市教育委員会 TEL0143-88-1100　〒059-0014 登別市富士町７丁目 33 番地

昨年中止の学校祭　無事に開催

今年度の市内中学校の学校祭は、本来の形ではありませんが、無事に開催することができました。鷲別中学校では、９月１８日（土）に無観客で開催されました。

緊急事態宣言下、体育館での鑑賞人数を１学年に制限し、残りの学年は、教室でビデオを視聴する形式で開催されました。「鼓舞～奮わせろ、二七六の心臓を～」をテーマに開催され、全校劇や学年ステージ発表、ギター・マンドリン部の演奏が行われました。また、ステージ正面を飾ったモザイクアートは、グスタフ・クリムトの作品「生命の樹」で、１㎝×１㎝の正方形のマスを、全校生徒が１マスずつ着色をして「樹」の１本１本が生命の連鎖や永続性を表現されるよう、全校生徒で完成させた作品となりました。



ギター・マンドリン部の演奏



モザイクアート「生命の樹」



全校劇「変身」

小学校で最初（1 年生）と最後（6 年生）の学習発表会

10 月 18 日（月）から 25 日（月）、青葉小学校において学習発表会が学年別に開催されました。そのうち入学して初めての１年生の発表会では、音読劇「くじらぐも」と縄跳びを使ったダンスを楽しく元気に発表していました。６年生の発表では、総合的な学習の時間で取り組み、これまで延期になっていた修学旅行の事前計画発表会が行われ、小学校最後の学習発表会を締めくくりました。



１年生の音読劇「くじらぐも」



６年生の修学旅行事前発表

登別市教育実践研究奨励校
登別市立登別中学校　公開研究会

１０月２２日（金）、登別中学校において公開研究会が開催され「２学年理科～天気とその変化～雲のでき方と前線」の授業と「３学年道徳～アイツとオレ」の授業が行われました。これまで本校では、研究主題を「自己の課題を見つけ、乗り越えていく力を持った生徒の育成～協働的な学習を通して～」と設定し、教科における協働的な学習においてＩＣＴ機器を活用し『対面討論』に代わるグーグルアプリケーションを用いた意見表明と交流を行ってきました。研究討議では、「コロナ禍における協働的な学び」の効果等を検証しました。



３年生道徳でグーグルフォームで回答



２年生理科で実験結果を班でまとめる

文化芸術による子供育成総合事業

「狂言」について　ワークショップで学習・体験

文化庁主催「文化芸術による子供育成総合事業（巡回公演）」ワークショップが１０月２８日（木）に代表校の鷲別小学校で開催されました。ワークショップでは、公演団体（萬狂言）狂言師より狂言のおはなし、正座・姿勢・歩き方・狂言の発声等を学びました。また、このワークショップを受けた鷲別小学校の代表者が１１月３０日（火）に市民会館で行われる狂言の公演に出演します。そこで披露される狂言小舞「兎」の体験も行われ、参加した子供たちは、熱心に講師の振り付け等の説明を聞き、練習に取り組んでいました。本番では、鷲別小学校の代表者４名が狂言小舞「兎」で舞台に上がります。本公演会は、市内全小学校の６年生が午前と午後に分かれて鑑賞します。



狂言小舞「兎」を披露



狂言小舞「兎」の振り付けを体験

登別市「鬼っ子フォーラム」の開催
「みんなが通いたくなる学校づくり」

11月1日（月）、登別市いじめ・不登校対策会議事業の「鬼っ子フォーラム」が開催されました。市内小中学校、高等学校の児童会・生徒会代表が集まり「みんなが通いたくなる学校づくり」として各校の取組を紹介し、いのちの重さや人としての生き方、人との関わりについて考えを深める機会となりました。各学校の取組紹介の後に小中高生各２名（計６名）によるトークセッションが行われ、室蘭工業大学清末愛砂教授が進行役となって「いじめをなくすために自分が できること」「元気のない子がいたらどうするか」「人を認めるとは、どういうことか」などについて議論しました。その中で「一人一人の違いを受け入れることが大切」「友達に寄り添う」「その人のことを知ろうとする努力が必要」「思いを話すことが難しい人もいるけど一緒にいることが大事」「すぐに言動に移さずに、その人を傷つけないかどうか判断する」など、多くの意見が出され充実した会となりました。その後、代表者が「鬼っ子宣言」を発表し、承認されました。承認された鬼っ子宣言の実現に向けて、各学校で充実した取組を進めることを誓い閉会しました。



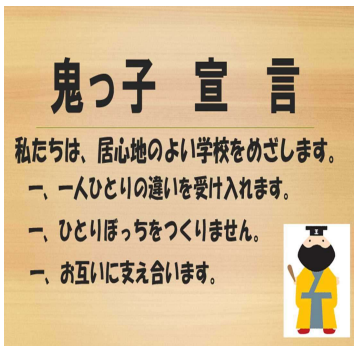
幌別西小学校の発表



幌別中学校の発表


登別青嶺高等学校の発表


トークセッション



鬼っ子宣言



各校の代表者

ピンクシャツデーを２月に実施しよう！お互いに認め合う意思表示を！

鬼っ子宣言に合わせて、ピンクシャツデー実行委員会よりピンクシャツデーの取組が提案されました。カナダのある学校で、中学生の男の子が学校にピンク色のポロシャツを着て登校したことが原因でいじめられてしまいました。それを聞いた上級生がクラスメートたちに「明日、ピンク色のシャツを着て登校しよう」と呼びかけ、次の日に数百人もの生徒がピンク色のシャツやピンク色のものを身に付けて登校しました。学校中がピンク色に染まり、いじめもなくなったそうです。この行動が、カナダをはじめ世界中に広がりました。鬼っ子宣言を実現するために、行動で意思表示をするのが、ピンクシャツデーです。お互いを認め合う意思表示としてピンク色のシャツを着て、鬼っ子たちの手で登別を思いやりのピンクに染めましょう。

開校130周年記念　30年前のタイムカプセル開封

１０月６日（水）、開校１３０周年を迎えた登別小学校では、１９９１年１０月に開校１００周年の記念事業として埋設されたタイムカプセルを開封しました。

開封作業を行ったＰＴＡ役員、教職員は、カプセルの中味がとてもきれいでびっくり。子どもたちは、掘り起こし作業を見守り、開封された中から出てきた自分の親の作品等を見て感動していました。開封されて出てきた作品等は、冬休み期間を利用して展示会を開催する予定です。



重機でカプセルのふたを開ける

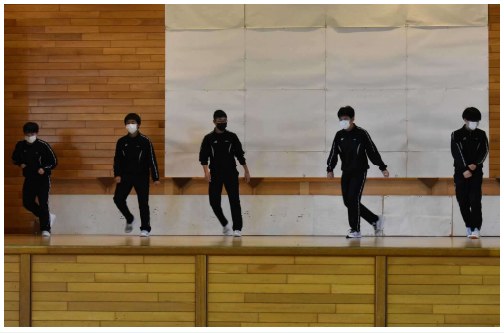


当時の横断幕

みんなでＨＩＰ－ＨＯＰ！！

登別市文化・スポーツ振興財団の主催によるダンスレッスン派遣事業が、１０月１２日（火）と１９日(火)に登別中学校で開催されました。一流のプロダンサーを講師に迎え、ダンスの経験が無くても、楽しくノウハウを学べるよう”現代的なリズムのダンス”であるヒップホップダンスの初歩的な技術を習得し、ステップアップを目指すことを目的に各学年に分かれ体育の授業の中で行われました。今年度は、札幌のダンススタジオマインドの講師仙場弘晶さんにダンスを分かりやすく、丁寧に説明してもらい、生徒たちは、最初は恥ずかしがっていましたが、最後には笑顔で楽しく体を動かしていました。





秋晴れの中、記録に挑戦「陸上記録会」！

１０月１２日（火）、室蘭入江陸上競技場で幌別中学校陸上記録会が開催されました。本来は１学期に行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止のために２度の延期を経てやっと実施することができました。当日は、晴天の中、芝生スタンドには多くの保護者が応援に駆け付け、声援を我慢して観覧していました。

２年生男子高跳び　⇒

